

第1回血管炎早期発見研究会 プログラム

2014年3月29日(土)

東京都健康長寿医療センター 研究棟3階会議室

10:00 開会

10:05~12:35 演題発表

司会：湯村和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

1. 透析回避しえた顕微鏡的多発血管炎症例から考える医療経済への貢献
今澤 俊之（国立病院機構千葉東病院腎・糖尿病センター）
2. ANCA 関連血管炎の早期発見における検尿の有用性
—栃木県内血管炎後ろ向き研究（栃木 study）—
濱野 慶朋（東京都健康長寿医療センター病院腎臓内科）
3. 検診にて発見され、10年間の経過が観察し得た ANCA 関連腎炎の一例
佐々木裕子（戸田中央総合病院腎臓内科）
4. 急速進行性糸球体腎炎の進行を抑え、ステロイド以外の免疫抑制薬を用いることなく寛解導入および維持により透析の回避が可能であった ANCA 関連血管炎の一例
大久保光修（東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科）
5. ANCA 関連腎炎で透析にいたらなかった患者群での臨床病理学的検討
天野 方一（東京慈恵会医科大学腎臓高血圧内科）

12:45~13:45 ランチョンセミナー

司会：湯村和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

「ANCA 関連血管炎の肺病変 update」—特に間質性肺炎について—

本間 栄（東邦大学医学部内科学講座呼吸器内科学分野）

14:00~15:00 講演 1

司会：丸山直記（東京都健康長寿医療センター）

お月様の話—半月体（形成）性腎炎の病態—

山中 宣昭（東京腎臓研究所）

15:00~16:00 講演 2

司会：鈴木和男（帝京大学アジア国際感染症制御研究所）

血管炎の病態と BVAS の活用

湯村 和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

【症例提示】診断までに時間がかかったが透析回避できた顕微鏡的多発血管炎の一例

佐藤 貴彦（上尾中央総合病院腎臓内科）

16:00~17:00 話題提供・討論「ANCA 測定 of 歴史と現状」

司会：鈴木和男（帝京大学アジア国際感染症制御研究所）

1. ANCA 発見から測定まで -ANCA 測定 of up-to date-

猪原登志子（京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター早期臨床試験部）

2. ANCA 測定 of 歴史と現状

板橋美津世（東京女子医科大学第四内科）

17:00~18:30 交流会・意見交換会